

アシックスが業績を下方修正－構造改革の財務基盤への影響、業績回復の動向を注視

以下は、株式会社アシックス（証券コード：7936）の18/12期業績予想の下方修正についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は11月2日に18/12期業績予想を下方修正し、売上高3,850億円（前期比3.8%減）、経常利益100億円（同54.0%減）に引き下げた。同期に計上する予定の特別損失の見積もりが困難なため、最終利益の予想は未定となっている。
- (2) 米国を中心に販売が減速し、利益水準は数年前に比べ低下している。これに対し当社は、プロダクトカテゴリーを基軸とする経営管理体制に変更し、収益責任を徹底させるとともに、商品力を高めるための取り組みに着手した。適正な人員配置や滞在在庫の処分、不採算店舗の減損などの構造改革も行う方針である。消費者の嗜好の変化に応じた商品を投入し、販売を伸ばし、業績回復への筋道を早期に付けなければ、格付への下方圧力が強まる。一方、財務体質は健全で、18年9月末で2,000億円を超える自己資本を有するなど一定の耐久力がある。ただ、現時点で一連の構造改革に伴う損失額は未確定であり、財務基盤への影響が拡大すれば、格付にはマイナス材料となる。商品力の強化を通じた19/12期以降の業績回復の蓋然性および構造改革に伴う財務基盤への影響を見定め、格付に反映させていく。

（担当）窪田 幹也・佐藤 洋介

【参考】

発行体：株式会社アシックス

長期発行体格付：A+ 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル